



新谷会長

大阪代協

携行品特約、新種保険での トラブルに注意

「コンプライアンスと代理店の賠償責任」テーマにセミナー

大阪代協(新谷香代子会長)は、8月27日15時から、代理店会員、保険会社社員などを含め大阪380名、兵庫130名、和歌山50名の総勢500名を超える参加者のもと、Webセミナー「コンプライアンスと代理店の賠償責任」消費者に信頼される代理店になるために」を開催した。日本代協新プラン委託講師の杉山幹久氏が講師を務め、過去のトラブル事例を交え注意点を示しながら、代理店賠償責任保険(以下「代理店賠償」)への加入を求めた。

年間1.4千件の相談が

会員の約14%が

ヒヤツとを経験

開催にあたり、新谷会長が挨拶に立ち「私たちは、保険金をお支払いし、お客様に役立つ一方として、代理店賠償責任保険(以下「代理店賠償」)への加入を求めた。過去、トラブル事例を交え注意点を示しながら、代理店賠償責任保険(以下「代理店賠償」)への加入を求めた。

開催にあたり、新谷会長が挨拶に立ち「私たちは、保険金をお支払いし、お客様に役立つ一方として、代理店賠償責任保険(以下「代理店賠償」)への加入を求めた。過去、トラブル事例を交え注意点を示しながら、代理店賠償責任保険(以下「代理店賠償」)への加入を求めた。

開催にあたり、新谷会長が挨拶に立ち「私たちは、保険金をお支払いし、お客様に役立つ一方として、代理店賠償責任保険(以下「代理店賠償」)への加入を求めた。過去、トラブル事例を交え注意点を示しながら、代理店賠償責任保険(以下「代理店賠償」)への加入を求めた。

開催にあたり、新谷会長が挨拶に立ち「私たちは、保険金をお支払いし、お客様に役立つ一方として、代理店賠償責任保険(以下「代理店賠償」)への加入を求めた。過去、トラブル事例を交え注意点を示しながら、代理店賠償責任保険(以下「代理店賠償」)への加入を求めた。

開催にあたり、新谷会長が挨拶に立ち「私たちは、保険金をお支払いし、お客様に役立つ一方として、代理店賠償責任保険(以下「代理店賠償」)への加入を求めた。過去、トラブル事例を交え注意点を示しながら、代理店賠償責任保険(以下「代理店賠償」)への加入を求めた。



杉山氏

求償権行使が増加 代理店賠償への加入を 重要事項等説明書は常備で

ヒアリングにおいて「ルールの本質をしっかりと理解していないと、環境変化に十分対応、改善ができない」という見解とともに、代理店の実態に応じてたびたび改定される監督指針は注視しておく必要があると強調した。

きく変わり、2016年の改正「保険業法」によって代理店は意向把握、情報提供、募集人体制整備といった義務を負うことになり、保険募集、代理店経営のハードルが高くなったと指摘した。

また、顧客からすると、代理店と保険会社は一体であると認識されておられ、代理店は代理店委託契約書を熟読し、代理権限などを十分に理解しておくことが大切だと述べた。

等を用いるなどの一律・画一な手法で行われることであると、特に重要事項等説明書を常備・携行しこれを提示しながらお客様に説明することの重要性を強調した。とくに「つい・うっかり・うろ覚え」は虚偽説明につながるという、これによって代理店が敗訴した裁判事例を紹介。同氏は、虚偽説明につながるやすいものとして携行品特約や増加傾向にある新種保険を挙げ、トラブルになるケースが多いと注意を促した。

意向把握義務では、あな全国規模の代理店が実践している「3プラス1運動」を挙げ、1人のお客様に1回2時間の説明を3回行ってから契約へと導き、さらにその後にお客様に届いた保険証券を持って来店してもらい、そこでお客様の意向と契約内容が合致しているかをもう一度説明するといった、予習・復習的に意向把握する取り組みが求められるとした。

同氏は、代理店と法律上の責任について、代理店賠償責任、すなわち民事上の責任で、刑事上の責任や行政上の責任は対象とならないと述べ、民事上の責任の根幹をなす「不法行為責任」と「債務不履行責任」、さらに「信義誠実の原則」について代理店の責任を認めた東京地裁判決(1994年3月11日)を挙げ、解説した。

同氏は、保険契約者の保護、所属保険会社の保険募集人に対する教育指導等の責任を定めた保険業法第283条(所属保険会社の賠償責任)についても解説。これは、保険募集を行った際に、保険募集人に生じた民事上の損害賠償責任について、その所属会社が負うとした規定であり、民法715条(使用者責任)の特則であるとし、最近では保険会社が積極的に求償権を行使し始めていると話した。

杉山氏は、具体的に争われた24のトラブル事例を挙げた後、「言った、言わない」「口座振替不

能」「事故受け付け時に無償のものを有償である」と回答した場合」によるトラブルは法律上の賠償責任を問われることは比較的不い述べる一方、「オールリスク」すべて同じかそれ以上」という言葉は何かあったときにトラブルにつながるややく避けたい方とアドバイスした。

日本代協新プラン委託講師の杉山氏が講演

自らの保険募集行為に関する相談があると話し、いかに日常的にトラブルが発生しているかを指摘。日本代協の約9割にあたる代理店が同保険に

自らの保険募集行為に関する相談があると話し、いかに日常的にトラブルが発生しているかを指摘。日本代協の約9割にあたる代理店が同保険に